次の文章は，現生魚類の種数に関する記述である。文章中の空欄ａ～ｃに入るものの組合せとして正しいのはどれか。なお，記述は「魚類学の百科事典」（日本魚類学会編）による。

現生魚類は約34,300種存在し，現生魚類を無顎類，軟骨魚類，肉鰭類（四肢動物を除く），条鰭類に大別した場合，現生魚類の全種数に占める各分類群の種数の割合は，無顎類が約0.36％，軟骨魚類が約［ａ］％，肉鰭類が約［ｂ］％，条鰭類が約［ｃ］％となっている。

	a	b	c
1．	0.023	4.0	96
2．	0.023	96	4.0
3．	4.0	0.023	96
4．	4.0	96	0.023
5．	96	0.023	4.0

次の文章は，我が国の水産分野における外来生物に関する記述である。文章中の空欄 a ～ c に入るものの組合せとして正しいのはどれか。

我が国では，［ a ］に基づいて，我が国の生態系や農林水産業に被害を及ぼす又は及ぼすおそれがある外来生物を特定外来生物に指定しており，これにはブルーギルや［ b ］などが含まれる。また，「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」において，［ a ］による規制の対象外であるが，適切な管理が必要な産業上重要な外来種（産業管理外来種）として，［ c ］などが分類されている。

	a	b	c
1．	外来生物法*	イトヨ	アマゴ
2．	外来生物法	オオクチバス	アマゴ
3．	外来生物法	オオクチバス	ニジマス
4．	水産資源保護法	イトヨ	ニジマス
5．	水産資源保護法	オオクチバス	アマゴ

*正式名称は，「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」